

ドイツのメルケルおばさんが総理官邸に安倍晋三総理を訪ねた。
メルケル氏といえば中国にべったりの女傑。
すでに、中国へ10回以上は足を運んでいるほど親密。
我が日本にはメルケル氏が3年ぶりの来日。

日独首脳会談で “親中”メルケル氏が中国を牽制



日独共同記者会見に臨むドイツのメルケル首相(左)と安倍晋三首相 日本首相官邸にて

安倍晋三首相はドイツのメルケル首相と官邸で会談し、「安全保障分野での協力推進」のため、日独の機密情報の交換を可能とする「情報保護協定」を締結することで大筋合意した。

米中貿易摩擦や保護主義の台頭を念頭に自由貿易の重要性を確認したほか、6

月に大阪で開かれる20カ国・地域(G20)首脳会議(サミット)を見据えた協力強化でも一致した。

メルケル氏の来日は平成28年の主要国首脳会議(伊勢志摩サミット)以来で、単独での来日は27年3月以来、4年ぶり。情報保護協定は秘密情報を政府間で



日独共同記者会見を終え握手を交わすドイツのメルケル首相(左)と安倍晋三首相
日本の首相官邸にて

交換する際の管理規則を定め、軍事やテロに関わる情報の円滑なやり取りが期待できる。

両首脳は中国の海洋進出を念頭に「力による一方的な現状変更の試み」に反対し、法の支配に基づく国際秩序維持のため連携することでも一致した。

安倍首相は共同記者会見で「日独がルールに基づく国際秩序維持のために果たすべき責任はますます大きくなっている。自由で開かれたインド太平洋の実現に向けた協力で一致したことは意義深い」と述べた。

メルケル氏は「インド太平洋地域の平和と安定へのコミットを支援する。これは中国の領土的野心とも関係している。中国とは緊密に協力しなければならないが、

簡単にことを進めてもらっては困る」と述べ、中国を牽制（けんせい）した。

日独両首脳はまた、自由で開かれた経済システムの維持と強化のため緊密に協力することで合意。「豊かな未来社会の創造」を目指し、「自動運転」や「人工知能（AI）」といった先端技術分野で共同研究を強化することを確認した。

安倍首相は共同記者会見で、イギリスのメイ首相のため欧州連合（EU）離脱について「欧州と世界経済に対する影響を最小化する必要がある」と述べ、「合意なき離脱」を回避すべきだと訴えた。両首脳は2度目の米朝首脳会談を見据え、北朝鮮の完全な非核化の必要性で一致した。安倍首相は日本人拉致問題の早期解決に向けメルケル氏の支持を得た。

ヨーロッパを訪問した安倍晋三首相は
“親中”メルケル政権に果敢に切り込む

2014年5月の日独首脳会談で安倍晋三首相はアジア地域で海洋進出を強める中国の脅威をアピールした。ドイツのメルケル首相は中国と定期的な政府間協議を行ない中国・ドイツの関係強化が進んでいる。

当時の安倍首相はドイツ訪問を手がかりに好調なドイツ経済をアベノミクスの「3本目の矢」の成長戦略に取り込みたいとの思惑があった。

ドイツで存在感を示しているのは中国。ドイツにとって中国は欧州連合（EU）域外で最大の貿易相手国である。ドイツ銀行の経営権を手中にしているのは中国共産党の国策会社の海南航空集団。その海



首脳会談に臨むドイツのメルケル首相(左)と安倍首相 2014年5月ベルリンにて



2018年7月フランスで転落死した海南航空集団の王健会長

南航空集団の会長が11兆円もの負債を抱えてフランスで謎の事故死。一説によれば中国の汚いお金をきれいなお金にロンダリングしているという。

メルケル首相は2005年の就任以来、何度も訪中している。中国からドイツへの要人訪問も活発で、中国の習近平国家主席が訪独した際は独メディアが大々的に動向を報じた。

それに対し安倍首相の2014年5月の訪独は、日本の首相として5年ぶりの訪



訪独した中国の習近平国家主席(右)とドイツのメルケル首相



2015年9月訪米したローマ法王(左)とアメリカのオバマ大統領



2015年9月中国の習近平国家主席が訪米アメリカのオバマ大統領を訪問

独にもかかわらず、大きく取り上げる独メディアはない。「日独間でこれといった懸案がない」(外務省幹部)のが一因とされる。

安倍首相は今回の訪独で「同じ価値観を持つ国」としての関係再構築に一定の手応えを感じたようだ。

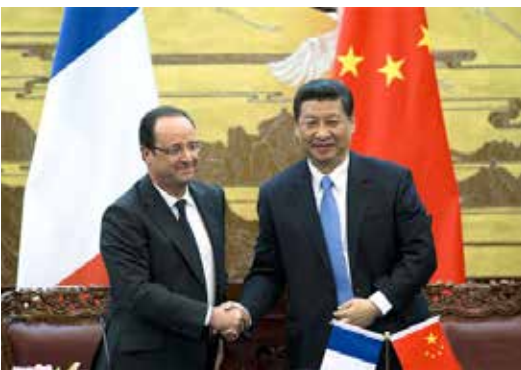
中国がメルケル首相を“爆買い”で歓待
エアバス130機購入

中国の習近平主席がオバマ大統領を訪問した時にローマ法王が同じ日にアメリカを訪問。習近平は【ローマ法王よりわた

しのほうが偉いんだ】と示したかったのだろう。わざわざローマ法王の訪米日に合わせてのダブルブッキングをする。ボーイング社に行って、ボーイング737を300機4.5兆円のお買い上げ。

国家主席の習近平がボーイングなら首相の李克強はエアバス130機・170億ドル(約2兆円)のお買い上げ。

フランスのオランド大統領が訪中する予定で、欧州主要国首脳が中国詣でが活発化する中、2015年10月中国側がお家芸の“爆買い”でドイツのメルケル首相の訪中を歓待している。



訪中したフランスのオランド大統領(左)と中国の習近平国家主席



ボーイング737中国国際航空



エアバスA330中国国際航空



訪中したドイツのメルケル首相(左)と
中国の李克強首相



エアバスA330中国東方航空



エアバスA320中国東方航空

中国国営新華社通信によれば李克強首相は「我々はドイツから進んだ技術と発想を学ぶ必要がある」と持ち上げ、「中国はドイツにとって巨大な市場になる」と述べた。その言葉を裏付けるように、中国の航空会社はエアバス「A330」30機と「A320」100機を購入。総額約170億ドル（約2兆円）に上る大型契約だ。

中独企業による長江の大規模ダム建設計画などの協力事業に合意したほか、中国が主導して年内に設立するアジアインフラ投資銀行（AIIB）や、人民元の国際化などについて話し合った。



エアバスA320中国南方航空



長江のダム



訪英した中国の習近平国家主席(右端)とイギリスのエリザベス女王(右から2番目)

メルケル氏は会談後、「中国経済の発展を信頼している」と強調。中国と欧州連合(EU)の自由貿易協定(FTA)の前提となる投資協定を2016年に締結する意向を示した。

メルケル氏の訪中は2015年10月で8度目を数える。「戦略的協力パートナーシップ」の強化で中国側と一致しているドイツだが、今回の訪中は、先の習近平国家主席の訪英で、英国が総額400億ポンド(約7兆4千億円)の契約を結んだことに刺激された可能性が指摘されている。



アジアインフラ投資銀行



環球時報

中国の国際情報紙、環球時報は2015年10月27日付の社説で、英仏独との関係強化を通じて、「米国と日本の中国牽制(けんせい)と圧迫を相殺できる」と主張。独仏首脳が中国に参ずる状況からは、中国国内で「ばらまき外交」と批判された習氏の訪英の、隠れた狙いがうかがえる。



2019年2月4日首相官邸で日独首脳会談を前に握手を交わす来日したドイツのメルケル首相(左)と安倍晋三首相